

ふれあい 夢 通信

5号

FUREAI YUME TSUUSHIN
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える

山口県教育庁教育企画室
編集ホットライン TEL083・933・4531



特集

豊かな自然の中で、 子どもたちの体験活動を進めよう

自然と向き合い、自分を見つめなおしてみませんか。

子どもの頃に自然とふれあったり、野外で遊んだりすることは大切なことです。

子どもたちは自分の五感を働かせながら、想像力を使ってさまざまな発見をすることで、感性を豊かにしていきます。

子どもたちと一緒に自然にふれて、新しい体験をしてみませんか。



子どもたちの生活に「ゆとり」がありますか？

今の子どもたちは、テレビやテレビゲームと向き合い孤独に過ごすことが多く、外に出て自然や地域社会とふれあうような体験活動が不足しがちです。

体験活動から学ぶ

子どもたちは、教室だけではなく、日々の暮らしの中から多くのことを学びながら成長しています。野外での遊びや自然とのふれあいを通じた体験活動は、豊かな感性を育むとともに、自然や環境を大事にする心を養い、社会の中で生きていく知恵などを身につけることができます。

少子化や核家族化、都市化が進む中、21世紀を生きる子どもたちの個性や創造性を豊かに育み、たくましく育てていくためには、これからの教育活動の中で、生活体験や社会体験、自然体験など、子どもたちに豊かな体験活動を積み重ねていく必要があります。

山口県教育委員会では、青少年教育施設におけるさまざまな体験活動や、本県が先導的に取り組んでいるOBS手法を活用した自然体験活動などを推進しています。

OBSをご存知ですか？

OBSは、野外活動とカウンセリングを組み合わせた自然体験活動です。大自然の中で、人と自然との本来の関係を取り戻し、人々との関わりの在り方を、参加者がお互いに体験を通して見つめ直し、「生きる力」を育むことを目的としています。

OBS手法

世界的な野外教育機関であるOBS(OUTWARD BOUND SCHOOL:アウトワード・バウンド・スクール)の教育手法。教育学や心理学などの成果を取り入れ、大自然の中で青少年が生きる力を育むことができるようプログラムされている。

チャレンジ・キャンプ

夏休み(7月下旬)の9日間、阿東町の十種ヶ峰周辺を中心とした場所で、小学校4～6年生が6～8人のグループに別れて活動します。(定員48人)

仲間に励まされて

(小6・女子)

マラソンで、いつもは30分以上かかる距離が20分で走れた。どうしてだろう。多分、楽しみたいという気持ちより、自分で決めた



目標を達成したいという気持ちの方が強くなったんだと思う。ゴールで仲間たちみんなが待っていると思ったら、頑張って一生懸命走ることができた。

親のためのOBSコース

チャレンジ・キャンプへ参加した子どもの保護者が、子どもたちと同じコース(キャンプ後半の4日間)を後追いする形で体験します。(定員10人)

親子のきずなを深めることができた(小6男子の母親)



2日目にロッククライミングに挑戦しました。日頃、はしごの4、5段でさえ、足が震えてあがれない私が、10mもある巨大な岩壁を命綱一本で登れたのは、スタッフのみなさんや仲間を信じていればこそできたことだと思います。やりきった後の満足感は何物にも替えられません。きっと、子どもたちも同じ気持ちだったと思います。

一つの目標を苦しみながら達成したという体験が、子どもたちのこれからの実生活に役立つことを期待しています。



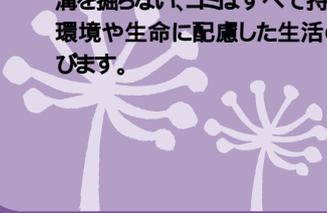
OBSの特徴は？

日常生活から離れた厳しい自然環境の中で、組織的な体験活動しながら、長期間にわたる移動生活をします。

年齢の異なる子どもたちでグループを組み、みんなで話し合って決めた目標に挑戦します。

指導者は、活動の基本となることを示し、カウンセリングなどを通じて子どもたちのさまざまな悩みに向かい合います。しかし、指示や命令はなるべくせずに、子どもたちが自ら目標を達成できるようさりげなく支援します。

たき火はしない、草木を折らない、テントの溝を掘らない、ゴミはすべて持ち帰るなど、環境や生命に配慮した生活の方法を学びます。



どんなことをするの？

準備期

野外活動の準備・集団生活への適応

野外生活のための知識や技術を学びます。グループでの協力の仕方を話し合います。

遠征期

冒険的なプログラムに挑戦

地図を頼りにグループでルートを決め、目標の山頂を目指します。仲間に別のロープで支えてもらいながら、樹木の間に渡したロープの上を渡ります。

内省期

孤独と戦う(ソロ)

自分一人だけで、過ごします。食事も睡眠も一人。家族や仲間、自分自身についてじっくり考えるよい機会になります。

自立期

グループだけで活動

仲間に励まされながら、ロープを頼りにロッククライミングを行います。指導者の手を借りずに、目的地を目指して行動します。

再出発期

活動の総仕上げ

身体的・精神的な挑戦のクライマックスとして長距離走を行います。最終日の前夜、全員がこの体験で得たことなどを発表します。そして、子どもたちは、新たな気持ちで日常社会へ再出発していきます。

日常生活

このOBS手法を活用した体験活動を通じて、子どもたちは、人との結びつきや連帯感、協力の精神などを身につけていきます。「一人ではできなかったことでも仲間と一緒にやればできるようになる」ことを体験する中で、自分に対する自信や、忍耐力、社会性が育まれていきます。

クエスト・キャンプ

夏休み(8月下旬)の11日間、中学生・高校生が参加します。阿東町を中心とした「山岳のプログラム」に加え、萩市での「海のプログラム」も実施されます。(定員48人)

学校に行って友だちをつくりたい (中2・女子)

ソロ(一人で過ごすプログラム)の時、自分のことや学校のことをいろいろ考えた。私は学校に行けず、勉強もまともにやっていないので、将来が心配になる時がある。それなら勉強をすればいいのだけれど、わからなくてすぐにやめてしまう。そんな自分がいやで、全て最初からやり直したくなる時もある。

OBSで知り合った友だちの話を聞いていると、学校ってずいぶん楽しそうだ。「思い切って、学校に行ってみようかな」という気持ちになってきた。



指導者講習会

OBS指導者の養成をめざして、野外教育指導者を対象に、夏休み(8月下旬)に14日間実施。(定員10人)

寝食を共にして

(高校教諭)

人が自然の中で暮らせる最低限の装備をザックにパッキングし、自然の中に飛び出して行き、山の木々の声、水の音を聞きながら、自然の大切さを感じ取ることができた。町中で暮らしていると、文明の利器がすべてのように錯覚してしまう。



14日間寝食を共にした仲間とは、グループに関係するすべてのことについて納得がいくまでお互いの本音を出し合って話し合い、解決していった。このことは、忘れかけていた人の輪、人と人とのコミュニケーションの大切さを教えてくれた。

子どもたちを自然の中に連れ出そう



あなたも、家族や子ども会、地域の仲間たちと一緒に自然体験活動にチャレンジしてみませんか。

山口県には青年の家などの青少年教育施設が、山や海浜などの自然環境の豊かな場所にたくさん設置されています。それぞれの施設では、自然観察や野鳥観察の他に、登山、スキー、ハイキング、オリエンテーリング、キャンプ、野外炊飯など、自然体験や家族のふれあいを深めるプログラムをたくさん用意しています。また、家族や友だちなど、それぞれのプログラムに合わせて御利用いただくこともできます。

4

山口県の青少年教育施設



青少年教育施設の概要は、山口県ホームページ（山口県教育委員会「山口県の青少年教育施設」）でもご覧になれます。

アドレス

<http://www.pref.yamaguchi.jp>

「きらら、きらら、ワッショイ!ワッショイ!」 小郡町立小郡小学校

晴れわたる秋空の下で運動会が行われ、2001年開催の未来博覧会「山口きらら博」をテーマにした着せ替え競争(きらら、きらら、ワッショイ!ワッショイ!)が、会場をわかしました。



校長先生、アコゴコに変身!

競技には2年生全員が出場し、博覧会マスコットキャラクター「山口きららバンド」のドング、モジャビー、ウリリン、ダンチャ、アコゴコ役の先生に衣装を着せていきました。最後にはきららバンドと一緒にグラウンドを一周。子どもたちは、お父さんやお母さんたちの温かい声援に応えながら、得意そうな顔で元気いっぱいに行進していました。

競技で使ったぬいぐるみは、PTAが



きららバンドの出来上がり

3日間かけて手作りしたものです。児童、先生、保護者が一丸となって参加したこの競技で、博覧会への関心も高まったようです。

「萩夏祭りでダンスフィーバー」 私立萩光塩学院

萩光塩学院は、毎年8月2日に行われる萩夏祭りの「ヨイショコショ・パレード」に、6年前から参加しています。

萩の民謡「ヨイショコショ」には、古くからある踊りとは別に、最近創作された「サンパ・ヨイショコショ」という激しいリズムのダンスがあります。祭りの夜は、萩市内の多くの団体がその2種類の踊りのパレードを繰り広げ、沿道の市民から大きな声援を受けます。

小学校から高等学校まで設置されている萩光塩学院から、今年は「光塩ファミリー」として、児童生徒、保護者、教職員、総勢70名が参加し、夏祭りの夜は一気に盛り上がりました。



大人も子どももヨイショコショ!



夜も更けて祭りは最高潮

祭りの日は、地域の皆さんと交流できる大変よい機会となっており、児童生徒たちも、毎年とても楽しみにしているようです。

「身体で感じる国際社会」 山口県高校生友好交流団



萩焼のルーツを訪ねて～井戸郷陶房～

山口県高校生友好交流団の生徒20名が、9月27日から5泊6日の日程で大韓民国慶尚南道を訪問しました。

昨年に引き続き2度目となるこの訪問では、慶尚南道の高校生(馬山女子商業高校、昌原機械工業高校、慶南自営高校)との交流や文化・産業施設の見学を通して相互理解を深め、豊かな国際感覚を身につけるなど、多くの収穫を持ち帰りました。本県の高校生たちは、日本に強い関心をもつ韓国の高校生の積極的な姿勢に驚きながらも、彼らと直接ふれあうことで、より一層友情を深めることが

できたようです。

参加した高校生たちは、この体験を生かして、今後、日韓両国間の友情の架け橋として大いに活躍してくれることでしょう。



民族楽器にチャレンジ～慶南自営高校(農業)～

山口県の学校では、連携教育の取り組み

連携教育ってどんなこと？

～小・中・高校が手を携えて～

県教育委員会では、「学校間の縦の連携」を図る連携教育に積極的に取り組んでいます。連携教育は、従来の小学校、中学校、高等学校という校種の枠に縛られることなく、それぞれの教員がお互いに連携・協力しながら教科指導、生徒指導の充実や学校行事の活性化等に取り組み、これまで以上に、個に応じたきめ細やかな指導や幅広く多様な教育活動を展開するものです。

現在、小学校と中学校を結ぶ小中連携教育、中学校と高校を結ぶ中高連携教育の研究が進められています。

連携教育への取り組みは？

小中連携教育は昨年度から、また、中高連携教育は今年度から、それぞれ県内3地区で地域や学校の特色を生かしながら、学習活動や特別活動などの実践的な研究を進めています。(下表:取り組み学校一覧)

今後はどうするの？



少し緊張します～豊浦中学校で

各地区の研究成果を生かして県内に取り組みを広げ、学校の活性化や地域の活性化に役立てています。

この日、響高校の先生とALT(外国語指導助手)が参加して、英語の授業が行われました。

小中連携教育に取り組んでいる学校

地区	小学校	中学校
萩市	大井小	大井中
熊毛町	三丘小、高水小、勝間小、大河内小、八代小	熊毛中
美東町	赤郷小、大田小、綾木小、鳳鳴小、淳美小	美東中

中高連携教育に取り組んでいる学校

地区	中学校	高等学校
錦町	錦中	広瀬高
秋芳町	秋芳南中	美祿高
豊浦町	豊浦中、豊洋中、宇賀中	響高

小学校と中学校との連携

～子どもの心豊かな成長を願って～

毎年10月末になると、熊毛町八代盆地に特別天然記念物のナベツルが渡来します。このナベツルの観察・保護のために地域の小中学生が一緒になって協力しています。朝6時に有志の小中学生およそ40名が観察場所に集合して、ナベツルの羽数やねぐらの様子を調査・観察し、記録に残しています。子どもたちはお互いが協力する中で信頼感を深め、人と人とのふれあいや仲間の大切さを学んでいます。

萩市の大井地区では、小学校の児童会役員と中学校の生徒会執行部が「ふるさと大井のためにどんなことができるか」について何回も話し合いました。



中学生のリードでゴミを分別～ビーチ・クリーン作戦

その結果、小学1年生から中学3年生まで、合同で環境美化活動に取り組むことになり、地域へも美化を呼びかけるため、小学校でポスターを、中学校では看板を制作し、掲示や設置を行いました。



どうなるのかな？

美東町内の小中学校では、合同授業を実践しています。図工や美術で同じ題材を使って一緒に学習したり、小学生がコンピュータを多く備えている中学校に出かけて行き、中学生に習ってインターネット体験をしたりしています。また、音楽では、小学校の先生と中学校の先生が一緒になって、子ども一人一人に応じた指導を進めています。

指導課(TEL083-933-4601)

みを進めています。

中学校と高等学校との連携

～地域に根ざした教育を目指して～



それじゃ先生、こっちは? ~いろいろ「きのこ」を調べよう~

錦町では、これまで広瀬高等学校と錦中学校の生徒たちが、合同で茶摘みをしたり、夏休みの自然環境調査を実施したりしてきました。また、2学期からは英語や数学、理科、音楽の先生が連携する学校に出かけて授業をしています。高校の理科の先生の授業を受けた中学生たちは、専門的な話を交えた授業に新たな興味を呼び起こされ、また、広瀬高等学校への理解や関心も深まりつつあるようです。

秋芳町では、美祢高等学校と秋芳南中学校が、合同で部活動やボランティア活動を行ったり、先生がお互いの授業参観を全教科で実施したりしています。さらに、国語、社会、音楽、美術、保健体育、技術家庭では、先生の相互乗り入れを始めました。中学校で行われた高校の音楽の先生の授業では、最初、少しとまどい気味だった中学生たちも、次第に心もうち解けて笑顔が広がり、楽しい雰囲気の中でさわやかな歌声を響かせていました。

豊浦町では、響高等学校と、豊浦中学校・豊洋中学校・宇賀中学校の3校で、英語や、家庭科の先生が連携し、相互乗り入れに取り組みむとともに、高校で



よし、ドンと来い!!

は中学生を対象にしたコンピュータの研修講座なども行われています。また、部活動でも熱心な取り組みが進められており、特に以前から合同練習を行ってきた響高等学校と豊浦中学校の相撲部は、共に全国大会で活躍するなど成果が上がっています。

教職員課(TEL083-933-4554)



⑤ 合同授業



ひと言

二人三脚～中高連携教育～



秋芳町立秋芳南中学校 教諭(美術科)

足立直之

まったく手探りの状態で始められた中高連携教育の取り組み。生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すために、中学校と高校がまさに二人三脚で、計画的・継続的な教育指導を行うものです。本校では2学期から、実際に各教科や特別活動、部活動などでそれぞれ実践への取り組みを始めたところです。

先日、私も日頃馴染みのない高校1年生を相手に授業をしました。最初はお互いに緊張しながらも、「美術」を通して少しずつコミュニケーションが図れるようになり、実践へ向けて一歩踏み出したという思いを抱きました。

こうした取り組みが、中学校と高校の間だけでなく、小学校まで広がって、やがては地域全体で子どもたちを育てようという雰囲気生まれたいと思っています。

イベントカレンダー

1 / 22(土)~1 / 23(日)
 遊ぼうよ 英語で
 県油谷青年の家
 ☎0837-32-1000

2 / 8(火) 13:30~16:00
 山口県子どもフォーラム
 菊川町ふれあい会館
 ☎083-933-4606(県指導課)

2 / 11(金)~2 / 12(土)
 ファミリースキー
 対象 / 家族 定員 / 80名
 県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

2 / 12(土)~2 / 13(日)
 ファミリースキー
 対象 / 家族 定員 / 80名
 県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

2 / 26(土)~2 / 27(日)
 秋吉台のふるさとを訪ねて
 県秋吉台青少年宿泊訓練所
 ☎0837-62-0106

2 / 27(日)
 歴史教室
 県立博物館
 ☎083-922-0294

3 / 3(金)~3 / 5(日)
 “すばる”を見る会
 県立博物館
 ☎083-922-0294

3 / 4(土)~3 / 5(日)
 3 / 11(土)~3 / 12(日)
 3 / 18(土)~3 / 31(金)
 あなたの知らない不思議な世界
 県立博物館
 ☎083-922-0294

3 / 11(土)~3 / 12(日)
 早春の磯の香を求めて
 県油谷青年の家
 ☎0837-32-1000



1 / 8(土)~1 / 9(日)
 冬の十種ヶ峰に挑戦

雪山 大好きな皆さん!十種ヶ峰の新雪にうさぎを追って気ままなシュプールをえがいてみませんか。

対象 / 小学5年生以上~一般
 定員 / 50名

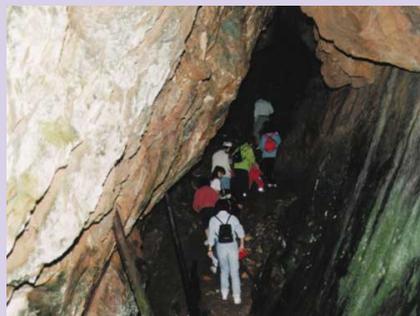
県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

1 / 28(金)~1 / 30(日)
 オリオン星雲を見る会

冬の日のひととき、「オリオン座の大星雲」などの天体を観望し、宇宙を身近に感じてみませんか。

当日自由参加です。
 人数制限はありません。
 参加料は無料です。

県立博物館 ☎083-922-0294



2 / 26(土)~2 / 27(日)
 日本最大の銅山探険

奈良東大寺大仏殿に関わる歴史を探訪するとともに、秋吉台の天体の美しさと木・竹・石のクラブを親子で楽しみませんか。

対象 / 親子(個人参加もできます)
 定員 / 50名

県秋吉台少年自然の家
 ☎08396-2-0581

3 / 11(土)~3 / 12(日)
 春の海で遊ぼう

船で無人島に渡り、浜で海草を取ったり、自然にある物を利用してのクラブを楽しんだりしながら、家族のふれあいを深めてみませんか。

対象 / 児童・生徒とその家族
 定員 / 30名

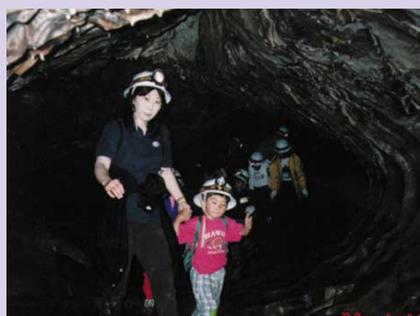
県光青年の家 ☎0833-72-5512



編集室から

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるために、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。今後取り上げたいテーマなどがありましたら、教育企画室までお知らせください。

山口県教育庁教育企画室
 住所 〒753-8501 山口市滝町1 1
 電話 083-933-4531
 ファックス 083-933-4539
 電子メールアドレス fureaiyu@ce.mbn.or.jp



3 / 11(土)~3 / 12(日)
 洞くつ探険! 3億年のメッセージ

家族で洞くつを探険し、洞くつに棲む生物を観察したり、洞くつの神秘の世界にふれたりしてみませんか。

対象 / 小・中学生とその家族
 定員 / 40名

県秋吉台青少年宿泊訓練所
 ☎0837-62-0106